

平成26年度 第5回 男女共同参画懇話会 議事要旨

日時	平成26年10月14日(火) 9:00~12:05
場所	市役所 東館2階 会議室8
出席者	委員…三和、加藤、緒方、具、田中、望月、(欠席…斎藤、村瀬、三輪、吉川) 事務局…近藤課長、糸課長補佐、矢取担当係長、浦主査
傍聴者	なし

1 あいさつ

三和会長よりあいさつ

2 議題

(1) 第3次とよあけ男女共同参画プラン(基本目標Ⅱ 社会参加における男女共同参画の推進)

Ⅱ 社会参加における男女共同参画の推進 1 地域社会での男女共同参画の推進 (1) 自立的・自主的な男女平等参画の推進

- ・コミュニティビジネスの立ち上げ支援は重要。介護保険制度の改正もあり、地域の取り組みが重要となる。
- ・高齢者福祉課及びシルバー人材センターが連携し「高齢者ボランティアポイント制度」を平成24年度から展開。コミュニティに高齢者が参加する仕組みを作っている。
- ・コミュニティビジネスの趣旨に沿ったものとしては、坂部生活支援ボランティアがあり、桶狭間区、中島区でも、同様の団体が立ち上がった。
- ・市民提案型事業でも、こういった取り組みを対象としている。坂部は、本制度で支援した。
- ・過去に市民協働課がまち育て塾事業で人材発掘を行っており、現在は社会福祉協議会がセカンドライフデビュー講座として行っているところである。
- ・西尾市が行っているように、様々な団体の意見交換があると良いなと考えている。
- ・社協のボランティア登録と市民協働課の市民活動登録団体は、重複しているので、一本化出来ると良いのではないかと。

Ⅱ 社会参加における男女共同参画の推進 1 地域社会での男女共同参画の推進 (2) 男女平等の地域コミュニティの活性化

- ・区町内会のコミュニティの女性参加は、難しい。どうしても世帯主になってしまう。
- ・区長27人の内、20人は一年で交代してしまう。
- ・地域活動への参加促進としては、知多市や大府市の取り組みを参考にして欲しい。
- ・安城市のように、男女講座の中に議会傍聴も組み込んで欲しい。

- ・東郷町のように委員会の公募推進を行って欲しい。(既に実施してきていると回答)

II 社会参加における男女共同参画の推進 2 就業における男女平等 (1) 就労支援の推進

II 社会参加における男女共同参画の推進 2 就業における男女平等 (2) 雇用環境整備の働きかけ

- ・検討の余地が少ない。
- ・豊明市は待機児童ゼロであるのは市の強みではないか。

II 社会参加における男女共同参画の推進 2 就業における男女平等 (3) 企業等への啓発

- ・企業等への啓発としては、愛知県の取り組みが参考になる。先日、新聞記事にもなっていた愛知県の『女性の活躍促進に取り組む企業等からの「女性の活躍促進宣言」』を参考にして豊明市も取り組めば良いのではないか。(『女性の活躍促進に取り組む企業等からの「女性の活躍促進宣言」』に関する資料を後日、委員に送付する)

III 社会参加における男女共同参画の推進 3 社会的性差のない環境づくり (1) 社会的制度・慣行の見直し

- ・調査だけであれば、基本目標IVに入れてしまっても良いかもしれない。改めて、これだけ取り出す必要はないのではないか。

(2) 数値目標について

- ・とても大事だが、現実的ではない数値を必要以上に沢山並べる必要はないと感じる。
- ・市職員関係では、市職員及び管理職における女性の割合を目標に入れる方向とする。
- ・西尾市のように、算出方法を明記する。また、管理測定が可能なものを数値目標とする。
- ・西尾市は目標値が10個。本市も概ね、この程度としたい。各自の宿題として、配布した西尾市と愛知県の数値目標を参考にし、優先順位が高いと思う目標値を二つ考えることとする。提出のための書式を後日メールする。

(3) その他

- ・本市男性職員で初めて育児休暇を取得した生涯学習課 野村主事から体験談を報告。その後、委員とディスカッションを行った。

- ・本日の議論によって4つの基本目標についての検討が一通り終わった。
- ・今日までの議論をまとめて、委員の皆さんにメールで送付する。併せて、策定委員会にも、今日までに検討内容を報告する。
- ・懇話会については、年内にもう一度集まるかもしれないので、その際にご協力をお願いしたい。